ロベール・ブレッソン

Robert Bresson

生年月日 1901/09/25
出身地 フランス／ピュイ＝ド＝ドーム
没年 1999/12/18

【バイオグラフィ】
■当初は画家を目指していたが、映画に興味を持ち３４年に中篇“Les Affaires publiques”を発表。その後シナリオライターや撮影スタッフとして活躍し、４３年に初の長編“Les Anges du peche”を監督した。４９年にはジャン・コクトーらとともに、後の“カイエ・デュ・シネマ”の母体とも言うべき組織“オブジェクティフ４９”を創設。真実の映画を追究する自らの作風を“シネマトグラフ”と名付けた。代表作は「ブローニュの森の貴婦人たち」、「抵抗（レジスタンス）－死刑囚の手記より－」、「スリ（掏摸）」、「ラルジャン」などがある。９９年、老衰のために死亡した。

【フィルモグラフィ】

ラルジャン（1983）	監督,脚本
たぶん悪魔が（1977）	監督,脚本
湖のランスロ（1974）	監督,脚本
白夜（1971）	監督,脚本
やさしい女（1969）	監督,脚本
少女ムシェット（1967）	監督,脚本
バルタザールどこへ行く（1964）	監督,脚本
ジャンヌ・ダルク裁判（1962）	監督,脚本
スリ（掏摸）（1959）	監督,脚本
抵抗（レジスタンス）－死刑囚の手記より－（1956）	監督,脚本
田舎司祭の日記（1950）	監督,脚本
ブローニュの森の貴婦人たち（1944）	監督,脚本
罪の天使たち（1943）	監督,脚本

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.